

大阪マラソン2026

【出場結果】

実施日：2月22日（日）

コース：大阪府庁前～大阪城公園内 大阪マラソンコース

（日本陸上競技連盟（日本陸連）・ワールドアスレックス（WA）／国際マラソン・ディスタンスレース協会（AIMS）公認コース）

出場者：坪井 響己

リザルト：

氏名	坪井
タイム	2:24'44"
順位	153位/30,778名

【レポート】

今季10000mで28分台の記録を2度マークし、競技者としての成長を見せる坪井が、大阪マラソンに出場しました。

坪井は2月1日に行われた埼玉県駅伝で、接触による転倒のトラブルに巻き込まれ、打撲の痛みが残る状態のため、マラソンへ挑戦も一時は危ぶまれましたが、レースに対する強い思いが、驚異的な回復につながり、今回の出場に至りました。

本大会はマラソン日本代表を決めるMGCシリーズ2025-26の男子グレード1に指定され、国内大会でも最上位レベルの大会であり、強豪選手が多く集う大会の中で、坪井も大幅な自己記録更新を狙って、ペースメーカーが1km3分を刻む第2集団の中でレースを進めました。



自己ベスト更新を狙って3分/kmのペースでレースに臨む坪井

ShinDengen /

当日の気象コンディションは、スタート時の気温は 12 度、ゴール時には 20 度近くまで気温の上昇が見込まれ、マラソンを走るには厳しい条件であり、序盤から確実に給水を取ることが重要なポイントとなります。

坪井は、1 km 3 分を刻むペースメーカーが先導する集団につきレースを進めましたが、序盤は表情にも余裕が感じられ、10 km を 30 分 13 秒で通過すると、足取りも軽く好記録への期待が高まりました。



20 km 地点。表情にも余裕がなくなり、必死にペースに食らいつく坪井

15 km までは表情にも余裕を感じられましたが、ハーフマラソンを 1 時間 3 分 45 秒で通過したあたりから、表情が険しくなり集団からは次第に距離が開く展開に。

25 km まではラップの落ち込みを 1 km 3 分 10 秒程度に留めつつ必死に前を追いましたが、30 km 過ぎからは完全に脚が止まって 1 km 4 分を超えるペースでゴールに向かいます。



30 km 以降苦しい走りとなった坪井

最後は苦しい走りとなりましたが、動かない身体を懸命に前に進め、2時間24分44秒でのゴールとなりました。



【総評】

10000mでも28分台をコンスタントに出せる走力を身につけ、これまで経験したマラソンの中でも最も自信を持って挑んだレースでしたが、望んだ通りの結果にはなりませんでした。

30kmまでは1km3分ペースの集団に着いていくレースプランをイメージして走りましたが、20km前後で集団から離れてしまったことで、レースの中盤以降は余裕の無い状態で走ることとなり、終盤まで粘ることが出来ずに大幅に失速しました。

次回挑戦するマラソンでは30kmまで、いかに余裕を持ってレースの流れに乗って走れるかが、自己ベスト更新への鍵になります。

今回の悔しさを糧に、次回のマラソンへのチャレンジを続けてくれることを期待します。

引き続きまして、皆さまの温かいご声援を宜しくお願いいたします。

以上